

Market Watching

発表日: 2020年3月23日(月)

経済活動停止で欧米景気も記録的な失速不可避(マーケットウィークリー)
～新型コロナウイルスとの戦争の行く末をマーケットは見守る～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
取締役・首席エコノミスト 嶋峰 義清 (TEL: 03-5221-4521)

【先週の市場動向】

先週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	結果	コンセンサス	前回	備考
3月15日(日)	米国: FOMC (前倒し) ・ 上限金利 ・ 下限金利	0.25% 0.00%	0.75% 0.50%	1.25% 1.00%	FF金利 FF金利
3月16日(月)	日本: 機械受注統計 (1月) ・ 船電除く民需 日本: 日銀金融政策決定会合 (前倒し) ・ 政策金利 ・ 10年債利回り操作目標 中国: 鉱工業生産 (1-2月) 中国: 小売売上高 (1-2月) 中国: 固定資産投資 (1-2月) 米国: NY連銀製造業景気指数 (3月)	▲0.3% ▲0.10% 0.00% ▲13.5% ▲20.5% ▲24.5% ▲21.5	▲0.7% — — ▲3.0% ▲1.7% ▲2.0% +6.1	▲3.5% ▲0.10% 0.00% +5.7% +8.0% +5.4% +13.0	前年比 日銀当座預金残高金利 10年物国債利回り 前年比 前年比 年初来前年比 ポイント
3月17日(火)	ドイツ: ZEW景況感調査 (3月) ・ 期待指数 トルコ: 金融政策委員会 (前倒し) 米国: 小売売上高 (2月) ・ 全体 ・ 除自動車 米国: 鉱工業生産指数 (2月)	▲49.5 9.75% ▲0.5% ▲0.4% +0.6%	▲27.2 10.25% +0.2% +0.2% +0.4%	+8.7 10.75% +0.3% +0.3% ▲0.3%	ポイント 1週間物レボ金利 前月比 前月比 前月比
3月18日(水)	日本: 貿易統計 (2月) ・ 輸出 ・ 輸入 ・ 貿易収支 米国: 住宅着工件数 (2月) ブラジル: 金融政策委員会	▲1.0% ▲14.0% +11,098 159.9 3.75%	▲4.1% ▲14.1% +9,295 149.0 4.00%	▲2.6% ▲3.5% ▲13,132 156.7 4.25%	前年比 前年比 億円 万件 政策金利 (Selic)
3月19日(木)	日本: 全国消費者物価指数 (2月) ・ 総合 ・ 除生鮮食品 豪州: 金融政策委員会 (臨時) 台湾: 金融政策委員会 フィリピン: 金融政策決定会合 ドイツ: ifo景気動向指数 (3月) スイス: 金融政策決定会合 英国: 金融政策決定会合 (臨時) 南ア: 金融政策委員会 米国: フィアデルフィア連銀製造業景況感指数 (3月)	+0.4% +0.6% 0.25% 1.125% 3.25% 87.7 ▲0.75% 0.10% 5.25% ▲12.7	+0.5% +0.6% 0.25% 1.375% 3.50% — ▲0.75% — 6.00%	+0.7% +0.8% 0.50% 1.375% 3.75% 96.1 ▲0.75% 0.25% 6.25% +36.7	前年比 前年比 RBA政策金利誘導目標 公定歩合 翌日物リパースレボ金利 ポイント SNB要求預金金利 翌日物貸出金利 平均レボレート ポイント
3月20日(金)	米国: 中古住宅販売件数 (2月) ノルウェー: 金融政策委員会 (臨時)	577 0.25%	555 —	546 1.00%	万件 中銀預金金利
3月21日(土)	—	—	—	—	—
3月22日(日)	—	—	—	—	—

(ポイント) ボラティリティ指数の推移(日次)



(ポイント) ボラティリティ指数の推移(月次)



主要市場の動向

	直近値	変化			移動平均値		
		1週前比	1月前比	1年前比	25日	75日	200日
10年債利回り							
米国	0.845	▲11.5	▲107.6	▲208.3	0.823	1.297	1.519
日本	0.075	+7.0	+12.0	+11.5	-0.063	-0.037	-0.118
ドイツ	-0.321	+22.3	+12.3	▲40.5	-0.534	-0.370	-0.415
豪州	1.142	+16.4	+13.9	▲79.5	0.915	1.078	1.103
株価							
NYダウ	19173.98	▲17.3	▲34.4	▲25.5	25138	27548	27150
日経平均	16552.83	▲5.0	▲29.5	▲23.4	20517	22621	22147
ユーロSTOXX50	2548.50	▲1.5	▲33.3	▲24.4	3191	3570	3540
上海総合	2745.62	▲4.9	▲9.4	▲11.2	2939	2973	2946
為替相場							
ドル/円	110.81	+2.6	▲1.1	+0.1	108.25	108.98	108.27
ユーロ/円	118.57	▲0.4	▲1.9	▲6.2	119.21	120.49	120.06
豪ドル/円	64.10	▲4.3	▲13.5	▲18.6	69.53	73.09	73.55
ユーロ/ドル	1.0695	▲3.7	▲0.8	▲6.3	1.102	1.106	1.109
商品市況							
WTI	22.63	▲28.7	▲57.9	▲62.2	40.80	51.84	54.54
金	1484.6	▲2.1	▲8.2	+14.0	1599	1557	1503

(注) 10年債利回りの変化は金利差 (bp)。その他は変化率 (%)

為替相場の変化は、ドル/円、ユーロ/円、豪ドル/円は+が円安、▲が円高。

ユーロ/ドルは+がユーロ高、▲がユーロ安。

先週 (3/16~3/20) の金融市場は、感染拡大が加速する欧米の動向を背景に、非常に不安定な相場展開が続いた。イタリアでは新型コロナウイルスの死者数が中国を上回ったほか、スペインやドイツ、フランス、そして米国でも感染者が1万人を超えた。各国は、これまで以上に厳しい移動制限措置を講じており、欧米での景気失速、同時不況入りは避けられないどころか、4~6月期の経済成長率はリーマンショック時を遙かに凌ぐ記録的な落ち込みとなるとの見方も出てきた。実際、週内に発表された中国の1~2月分、および欧米の3月分の経済統計は市場予想を大幅に上回る落ち込みを記録した。各国中央銀行は臨時会合、あるいは会合を前倒して追加利下げや量的緩和政策の拡充をかけた。一方で、コロナ対策を含め、各国政府は大規模な景気対策を講じる方針を打ち出しはじめており、各国の長期金利上昇に繋がった。一方、為替市場では各国中央銀行のドル供給策にもかかわらず、ドル高傾向が続いており、ドル円相場は一時1ドル=111円台まで円安ドル高が進んだ。

今週のマーケットは、まだ落ち着きのない展開が続こう。各国の対策強化の効果が出るには早くても来週まで待つ必要があり、“新型コロナウイルスとの戦争”の勝利が見えてきたかどうかの判断はできないだろう。感染者の増加ペースがはっきりと鈍化してくるまでは、相場の反転も見込みがたない。なお、中国では湖北省での感染者の増加に歯止めがかかった感があるが、春節休暇明け後に順次経済活動を再開させているその他地域での感染者は再び増え始めている。それが当局が公表しているように欧米からの帰国者によるものであれば問題は無いが、手綱を緩めたのが早すぎたとしたら非常に深刻な問題ということになる。なお、今週は日米欧で3月分のPMIが発表される。関連統計から判断すれば相当な落ち込みを覚悟すべきで、市場の景気悲観論を後押しする結果となろう。

【今週のマーケット環境】

今週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	注目度	コンセンサス	前回	備考
3月23日(月)	—				
3月24日(火)	日本：PMI製造業景気指数（3月）	★★★	—	47.8	ポイント
	PMIサービス業景気指数（3月）	★★★	—	46.8	万件
	日本：全国百貨店売上高（2月）	★	—	▲3.1%	前年比
	ユーロ：PMI製造業景気指数（3月）	★★★	41.0	49.2	ポイント
	PMIサービス業景気指数（3月）	★★★	43.0	52.6	ポイント
	米国：PMI製造業景気指数（3月）	★★★	49.4	50.7	ポイント
	PMIサービス業景気指数（3月）	★★★	48.5	49.4	ポイント
	米国：新築住宅販売件数（2月）	★	75.5	76.4	万件
3月25日(水)	タイ：金融政策委員会	★	0.75%	1.00%	翌日物貸出金利
	米国：製造業受注（2月）・耐久財	★	▲0.9%	▲0.2%	前月比
	・非国防資本財（除航空機）	★	▲0.4%	+1.1%	前月比
3月26日(木)	英国：金融政策決定会合	★★★	0.10%	0.10%	翌日物貸出金利
	米国：実質GDP確報値（10-12月期）		+2.1%	+2.1%	前期比年率
	メキシコ：金融政策決定会合	★	6.50%	7.00%	銀行翌日物金利
3月27日(金)	日本：都区部消費者物価指数（3月）・総合		+0.3%	+0.4%	前年比
	・除生鮮食品		+0.4%	+0.5%	前年比
	米国：個人所得支出統計（2月）・実質個人消費		+0.2%	+0.1%	前月比
	・PCEデフレータ		+1.7%	+1.7%	前年比
米国：ミシガン大学消費者信頼感指数（3月確報値）	★★	94.0	95.9	ポイント	
3月28日(土)	—				
3月29日(日)	—				

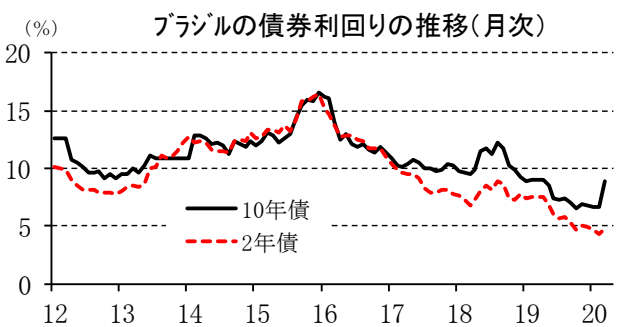
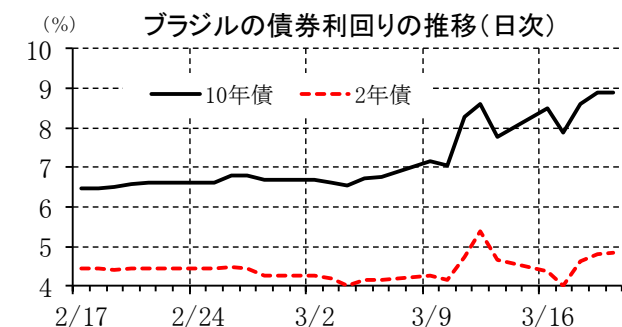
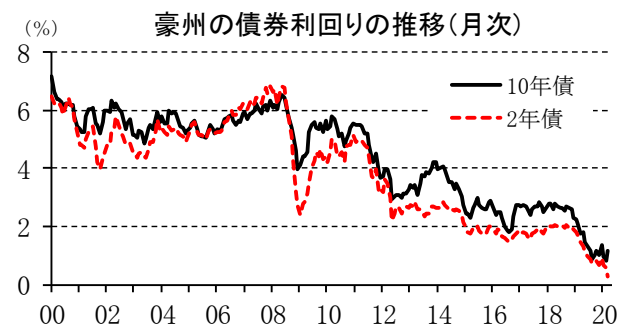
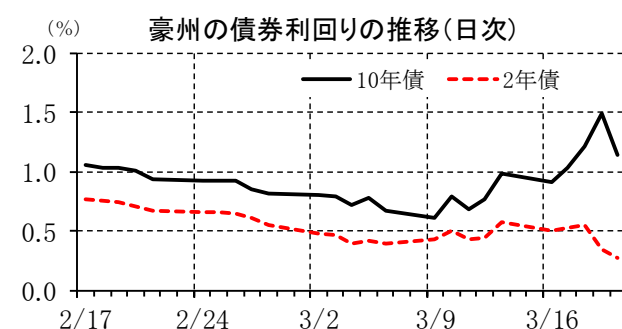
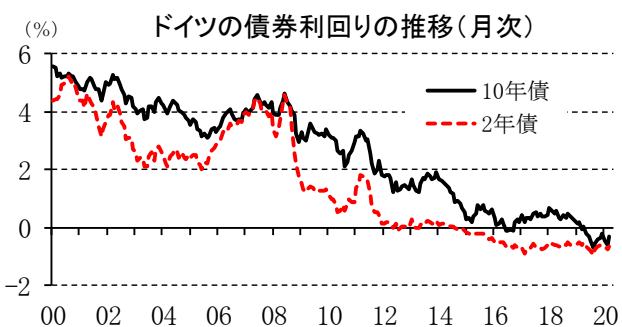
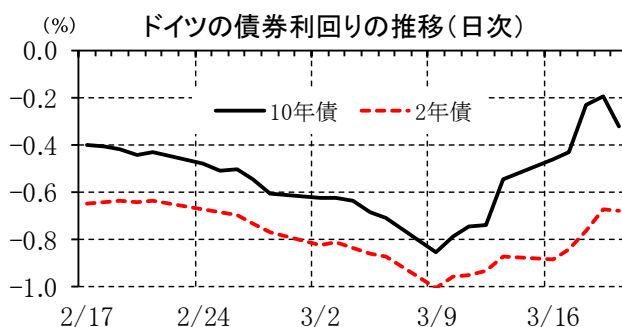
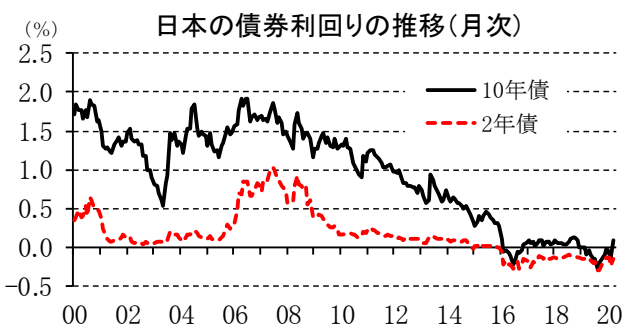
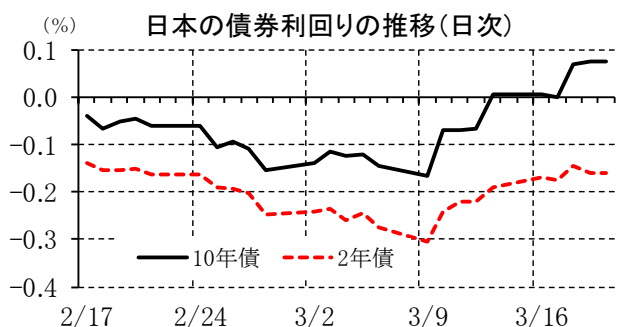
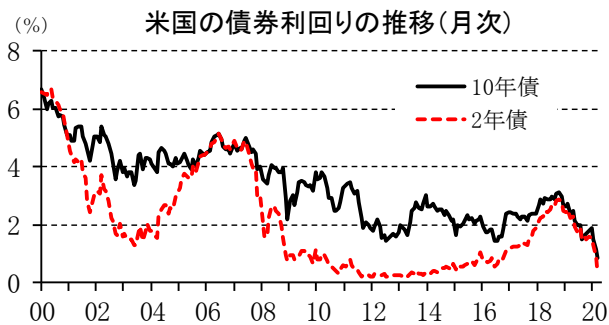
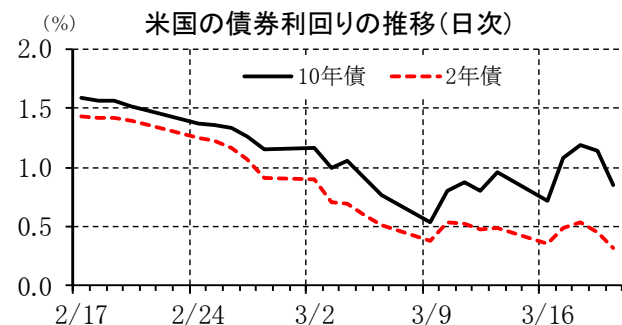
(注) 市場コンセンサスは各種ベンダー調査に基づく。注目度は筆者。

その他の注目イベント・材料

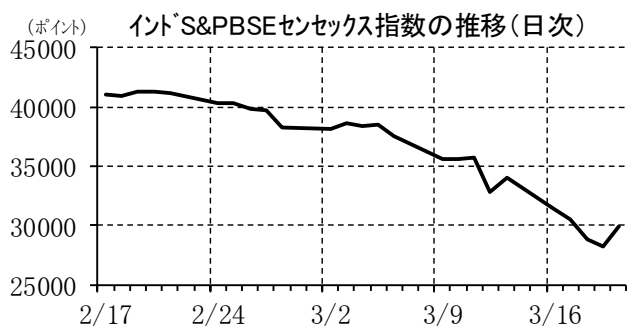
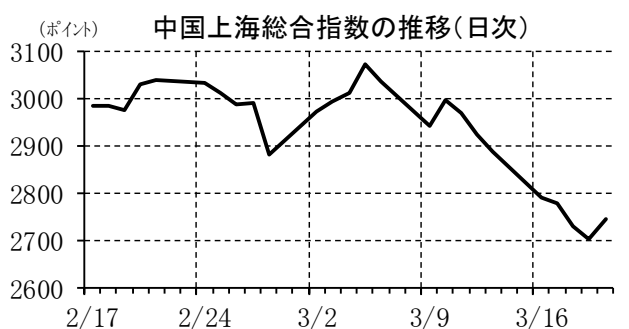
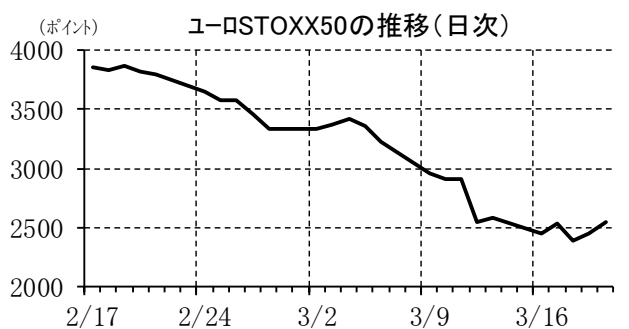
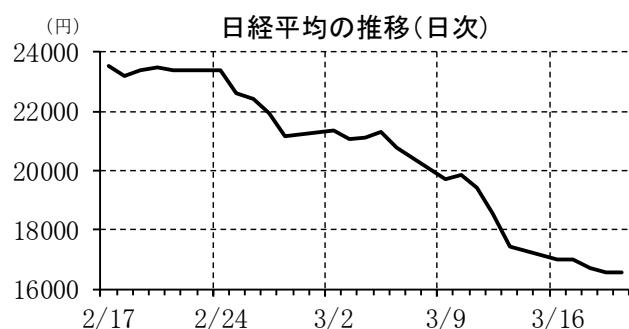
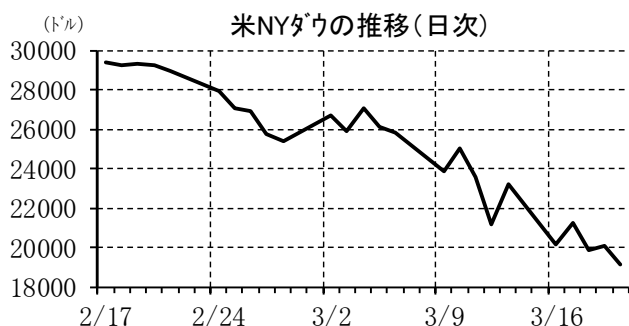
発表日	イベント	注目度	備考
3月23日(月)	—		
3月24日(火)	—		
3月25日(水)	日本：日銀金融政策「主な意見」（3月分）	★★	
3月26日(木)	日本：月例経済報告	★★★	
	ユーロ：ECB月報		
3月27日(金)	—		
3月28日(土)	—		
3月29日(日)	—		

(注) 各種報道等による。注目度は筆者。

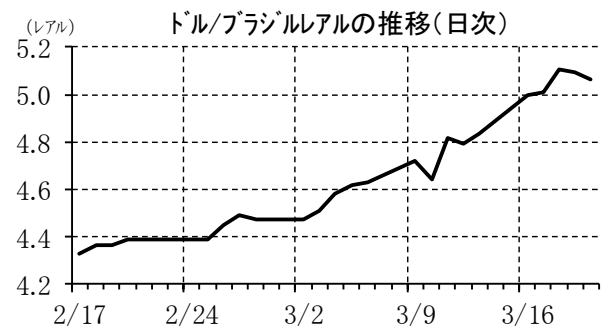
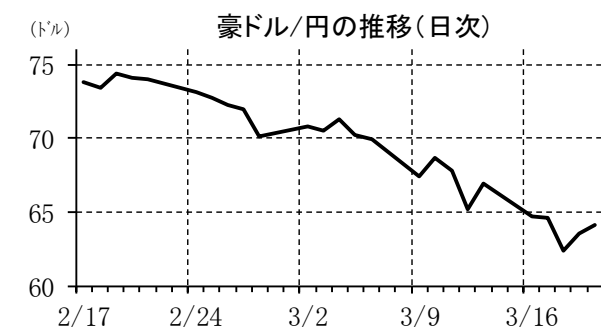
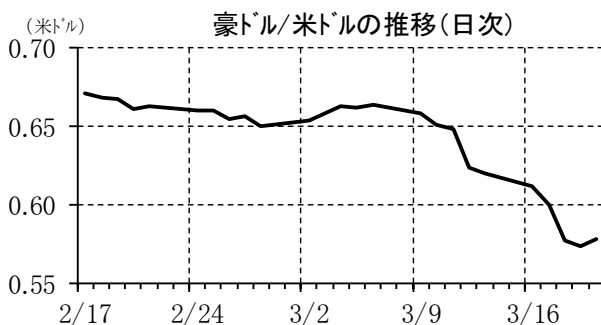
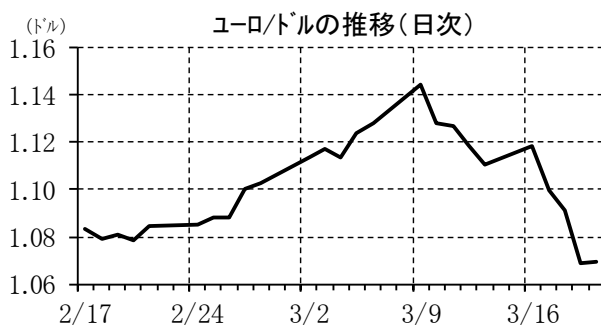
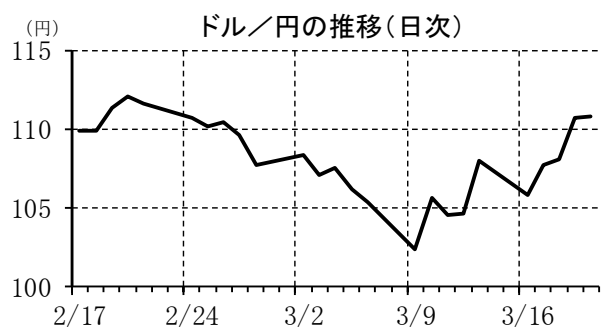
【債券利回り】



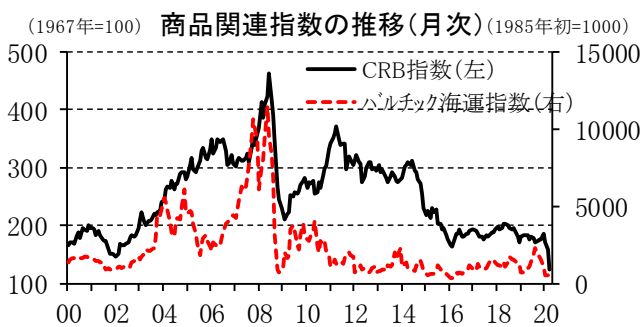
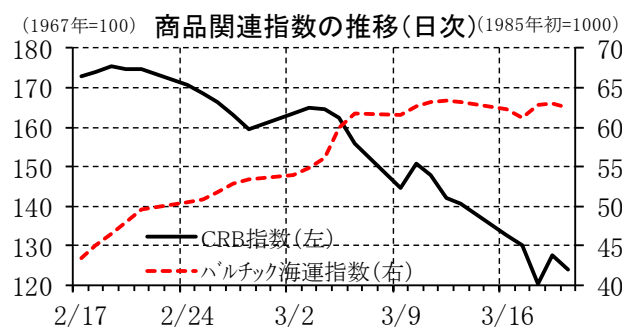
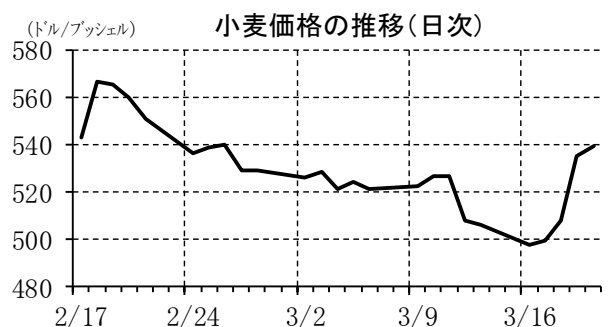
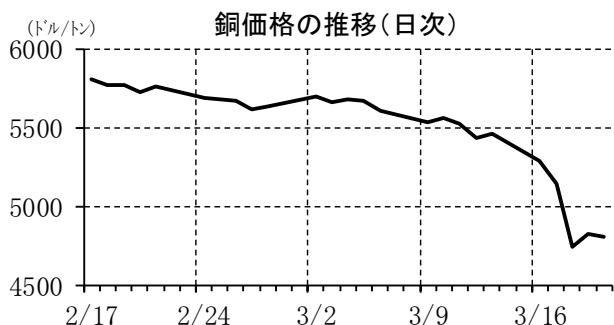
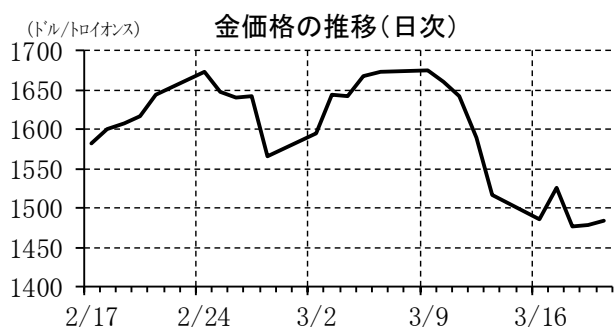
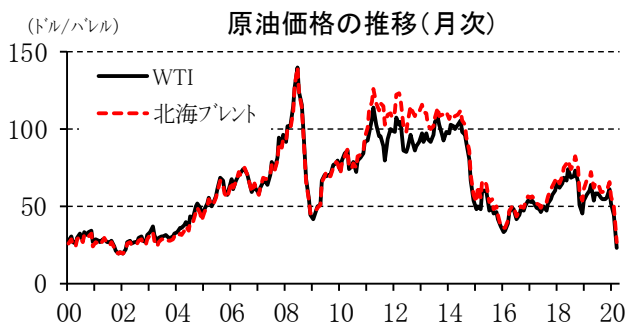
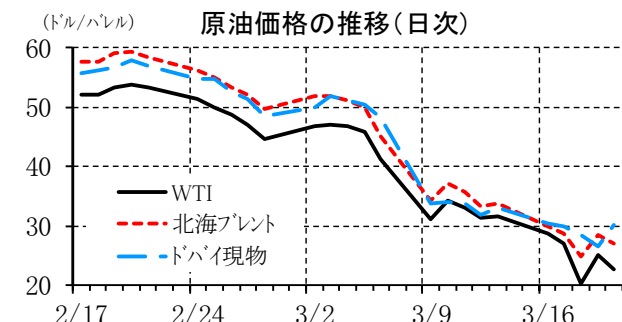
【株価指数】



【為替相場】



【商品市況】



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。